

危険物新聞

第 610 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 植 田 晃
発行人

大阪市西区新町1丁目5番7号

四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

全国事務局長会議開催

京王プラザホテル札幌において



開会の挨拶をされる鎌倉常務理事

財全国危険物安全協会では、平成16年度全国危険物安全協会事務局長会議を10月14日、札幌市内の「京王プラザホテル札幌」において開催しました。

今回の事務局長会議には47都道府県、56名が出席され、会議は鎌倉財全国危険物安全協会常務理事の挨拶、伊藤北海道危険物安全協会理事長の祝辞に始まり、議事に入った。

会議では以下の内容について討議されました。

- ・ H17年度定期点検技術者講習計画について
- ・ H17年度実態調査計画について
- ・ 年度毎図書頒布状況について
- ・ H16年度製作の視聴覚教材について
- ・ 保安講習等の傷害保険等について
- ・ H17年度会議等開催予定について
- ・ 企業防災対策支援センターの取り組みについて

その後、講演会として落漫人 野村晃一氏による“高齢時代を華齢に生きよう～花咲か婆さんのIT革命～”

の講演が行なわれるなど終始和やかな雰囲気の中、全国危険物安全協会と各都道府県危険物安全協会との間で活発な情報交換が行なわれました。

秋の全国火災予防運動

11月9日(火)～15日(月)

今年も秋の全国火災予防運動が11月9日(火)から11月15日(月)までの一週間行なわれます。

この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的としています。

本年度は、最近における住宅火災による死者数の増加にかんがみ、また、産業施設における重大な火災事故に対処するため、消防法及び石油コンビナート等災害防止法が改正され、火災予防に関する制度の充実が図られました。本年度は、住民自らが積極的に推進する地域住民主体の火災予防等を広く周知・啓発することとされています。

特に、住宅防火対策については、平成15年中の住宅火災による死者数が昭和61年以来17年ぶりに1000人を超え、高齢化の進展と共に今後益々増加していく恐れがあることから、消防法改正を踏まえ、火災の早期発見に有効な住宅火災警報器等の円滑な設置促進を重点的に推進することとされています。

また、三重県のごみ固形化燃料等関係施設における火災・爆発事故、日本を代表する企業における大規模な火災など産業施設における火災が連続して発生したこと、さらに新宿区歌舞伎町の小規模雑居ビル火災、長崎県の造船所における建造中の大型客船火災などにかんがみ、地域の実情に応じて、これらの産業施設、特定防火対象物及び新築工事中の防火対象物等にお

る防火安全対策の推進を図ることとされています。

そのほか放火火災予防対策について、放火火災件数が火災原因の第1位を占め、その件数が年々増加する傾向にあることから、関係機関との連携の下、放火火災による被害の低減を図ることとなっています。

重点目標

- (1) 消防法改正を踏まえた住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災・連続放火火災予防対策の推進
- (3) 消火器の適切な維持管理の推進

横浜国大 公開講座 「材料の劣化と対策」

11月30日～12月3日、堺市民会館

横浜国立大学大学院工学研究院では、昭和63年から公開講座を全国の危険物施設を多数有する地域や主要都市で行なっていますが、本年度は当協会及び大阪府、(財)全国危険物安全協会、(社)日本高圧力技術協会が後援して11月30日(火)～12月3日(金)の4日間にわたって堺市民会館で開催されます。

工業材料の腐食などによる劣化は、大きな経済的損失を伴うばかりでなく、特に危険物施設等においては重大事故にもつながりかねない緊要な問題でもあります。今回の講座では、材料の腐食劣化と検査・評価並びにその防止対策について、基礎に重点を置きつつ、実際上の観点に十分配慮して平易に解説することを目的としています。

1. 会場 堺市市民会館
(堺市翁橋町2-1-1)

2. スケジュール

日時	題目	担当
11月30日(火) 12:30～16:50	あいさつ	岡根和彦 大阪府立大学工学部教授(現)
	金属材料概論	岡根和彦 大阪府立大学工学部教授(現)
	化学プラント等における材料設計と損傷事例	石井正英 元日産エンジニアリング 技術本部技術センター 部長
12月1日(水) 9:30～17:00	地震による危険物施設への被害事例 —十都府中地震による被害と対策を中心に—	山田 賢 株式会社法人 消防研究所 基礎研究部長
	材料劣化の検出と評価技術(Ⅰ)	岡根和彦
	材料劣化の検出と評価技術(Ⅱ)	岡根和彦
12月2日(木) 9:30～16:40	赤外線サーモグラフィによる設備診断・非破壊評価技術	阪上 隆英 大阪大学大学院工学部 助教授
	腐食のしくみとその対策(Ⅰ)	朝倉 祝治 大阪府立大学工学部教授(現)
	腐食のしくみとその対策(Ⅱ)	朝倉 祝治
12月3日(金) 9:30～16:00	危険物施設におけるステンレス鋼の利用と腐食対策	石原 貞雄 大阪府立大学工学部教授(現) 客員教授
	閉講のあいさつおよび修了証授受	朝倉 祝治

注) 講義時間が90分を超える講義では途中で休憩をとります。また、講義の順番を変更する場合があります。

- 3. 定 員 80名
- 4. 受講料 4日間で10,000円
- 5. 問合せ先


〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
 横浜国立大学大学院工学研究院総務係 公開講座担当
 TEL 045-339-3804 FAX 045-339-3827
 E-mail eng.somu@nuc.ynu.ac.jp

第3回 危険物取扱者試験

12月5日(日) 府大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成16年度第3回危険物取扱者試験を12月5日(日)、堺市の大阪府立大学で次のとおり実施します。

また、平成16年度より受験願書の受付方法が郵送を主体としたものになっています。もちろん従前どおり(財)消防試験研究センター大阪府支部の事務所に受付期間中に持ち込んでも結構です。




AMATO ROTEC
セイフティ&アミニティ

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火

・さ・ら・に・。

防災設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。知る防災メーカー「アマトロテック」は、感じを知らせる「消す」を、安全確保の「す」にして、目的に沿った防災機器の研究開発をおこなう「アマトロボテック」システムを完成させました。

防災による快速復旧づくりのソリューションは「アマロテック」&「アミニティ」です。



アマトロボテック株式会社

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL (06)6976-0701代 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL (03)3446-7151代

ビル防災設備 プラント防災設備 燃焼・発熱設備 各種防火器

平成16年度 第 3 回危険物取扱者試験

試験日	12月5日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、 丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付期間	10月20日(水)~11月5日(金)
願書受付 (郵送又は持参)	(財)消防試験研究センター 大阪市中央区谷町2-9-3 近鉄大手前ビル2F TEL06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は次のとおりです。
・午前……9時30分(試験開始10時より)
・午後……13時(試験開始13時30分より)

〔受験資格について〕

- 甲種** ① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
② 高専・短大及び大学で化学の授業科目を15単位以上取得した者。(在学中でも可)
③ 乙種免状交付後、2年以上の危険物取扱の実務経験者。
- 乙種** 受験資格の制限はありません。
- 丙種** 受験資格の制限はありません。

受験準備講習会開催について

平成16年度第3回危険物取扱者試験が大阪府立大学で実施されることに伴い(財)大阪府危険物安全協会では、危険物取扱者の資格取得のための受験準備講習会を次のとおり開催します。

当講習会では過去に出題された問題や傾向を詳細に

分析し行なっております。また、各講師陣も的を射した判り易い講義を行っていますので、受講者の合格率は非常に高い数字を修めています。

〔準備講習会受付は、10月27日(水)より〕

この準備講習会の受付は、10月27日(水)から11月4日(木)の間、府下9受付会場で行ないます。

また、準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、泉佐野、河内長野、茨木など府下9会場で開催します。(詳細については8頁参照のこと)

なお、今回の講習にあたっては乙種4類の日曜コースは実施いたしません。
(準備講習会の案内書・受講申込書は府下各消防署の予防課で配布しています。)

9月の試験結果

甲種49.5%、乙種4類40.0%

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成16年度第2回危険物取扱者試験を9月26日(日)近畿大学(東大阪市)で実施しましたが、その結果が10月15日に発表されました。

試験区分別の合格率は、次のとおりです。

平成16年度第2回危険物取扱者試験結果

区 分	受験者数	合格者数	合格率(%)
甲 種	390	193	49.5%
乙種1類	111	90	81.1%
乙種2類	99	75	75.8%
乙種3類	98	84	85.7%
乙種4類	3,372	1,350	40.0%
乙種5類	88	75	85.2%
乙種6類	127	104	81.9%
丙 種	533	335	62.9%

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する画期的なはしご車



SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所等での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の本水路付はしご車



MORITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



大型化学車
MC-BC



【省力化合格機種】

泡原液搬送車



〒544-8585 大阪府生野区小浜東5丁目5番20号
Tel:06-6756-0110 Fax:06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

株式会社 **モリタ**

平成16年度 第3期保安講習開催

保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、いわゆる法定講習です。

危険物製造所等（化学工場、油槽所、塗料販売店、ガソリンスタンド、タンクローリー等の危険物施設）で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者（危険物保安監督者も含む）は、定められた期間内に受講しなければなりません。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱いに従事した日から、1年以内（ただし、免状を取得した日、または前回講習会を受講した日から3年以内）となっています。（規則第58条の14）

また、受講義務者が、受講期限内に受講しないときは、消防法違反となり、免状の返納を命じられることがあります。

第3期分(H16年12月1日～H17年2月21日)

ただいま案内書配布中

平成16年度より、郵送受付を原則として実施しています。3期分（12月1日～17年2月21日）の案内書はただいま各消防本部及び消防署予防課で配布しています。

また、郵送受付期間は11月9日(火)から11月19日(金)まで(当日消印有効)です。

案内書に同封の申請書を専用封筒にて当協会までお送りください。

なお、持込受付とする場合も可能です。

(持込みする場合は11月11日(木)から11月15日(月)まで当協会事務所で受付します。ただし、土曜・日曜日はお休みです。)

〔問合せ先〕

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7

(四ツ橋ビル8階)

(財)大阪府危険物安全協会

電話06-6531-9717

保安講習専用06-6538-1935

平成16年度 第3期 保安講習日程表

(平成16年12月1日～17年2月21日)

◇ 一般の部

回	実施日	開始時間	講習会場	最寄駅
50	12月1日(木)	13:30	高槻市消防本部	JR・阪急・高槻駅
51	12月3日(金)	13:30	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
52	12月6日(月)	13:30	大阪府商工会館	〃
53	12月13日(月)	13:30	吹田メシアター	阪急・千里線・吹田駅
54	2月7日(月)	13:30	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
55	2月14日(月)	13:30	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅
56	2月16日(水)	13:30	茨木市福祉文化会館	JR・阪急・茨木駅
57	2月17日(木)	13:30	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
58	2月18日(金)	13:30	堺市民会館*	南海・高野線・堺東駅
59	2月21日(月)	13:30	大阪府商工会館	地下鉄・本町駅

注1.保安講習の講習時間は3時間です。

注2.会場欄*印の会場は駐車可（ただし、有料）

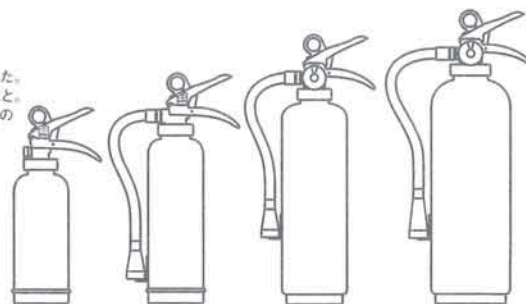
お好きな色を…!

お客様の声をカタチにできるブランナーを目指します。

おかげ様で100年の長きにわたり消火器・消火設備の総合メーカーとして歩むことができました。長い歩みを振り返り、私たちが考える将来の企業像は「もっとお客様に近い会社」であること。謙虚な気持ちで原点に立ち戻り、お客様のニーズに合った商品開発・ご提案を通じて、社会の利益に貢献したいと考えています。

HATSUTA
株式会社 初田製作所

本社 〒573-1132 大阪府枚方市肥後田近3-5 TEL (072) 856-1281
東京支社 〒140-0013 東京都品川区南大井2-9-3 TEL (03) 5471-7411
関西支社 〒555-0013 大阪市西区淀川区千舟1-5-47 TEL (06) 6473-4870



安全への道 42

「まさか」から「万一」 への対応

財大阪府危険物安全協会
専任講師 三村 和 男

今年も7月の新潟・福島豪雨、福井豪雨に続いて9月には台風18、21号が相次ぎ、堤防の決壊、土砂崩れで79人が亡くなった。

台風21号では、愛媛、三重、鳥取、山口の各県で、土砂、崖崩れ、土石流(山が崩壊して土砂が谷間に沿って流れる)が起これり21人の命が奪われた。テレビが映し出す山が崩壊する凄じい状景を見ると、人間の力ではコントロールできそうにないことを想像させる。

土砂の崩壊は、地震か豪雨が引き金になって起こるといわれている。土が水を含むと支える抵抗力が弱くなり、また土が水分だけ重くなるため滑りやすくなる。地震や豪雨の多い日本ではその危険性が高い。

ちなみにアジア防災センター(神戸市在)による「20世紀アジア自然災害データブック」(2000年7月発行)によると、1900年から1999年の100年間の日本における自然災害による死者数は217,533人で、アジアの中では突出している。災害別の死者数では1位が地震164,701人(76%)、次いで台風33,604人(15%)、洪水11,529人(5%)、津波6,382人(3%)の順であり、その他は地滑り、噴火である。

これらの土砂、河川災害の防止について、設備的には莫大な対策費を要するだけでなく、設計する際の

想定規模にも限界があって、自然災害多発国とはいってもハード面の対策は20%程度しかできていないようだ。

そうだとすると、ソフト面の対策が重要になる。その対策とは、信頼性の高い気象情報に基づき適切に避難させることである。

現実はどうか。うまく対応できているところもあるが、避難勧告が遅くれたために人的被害の拡大を招いた事例も少くはない。

昨年7月の九州豪雨、先の21号台風のときにも、避難勧告が遅かった。よく聞きたれなかったという不満の声が出ていた。

また被害者側の意識として「まさか山の斜面が崩れるとは思わなかった」、「まさか堤防が決壊するとは思わなかった」という声もある。避難はしたが家が心配になって見に行ったところ堤防が決壊し九死に一生を得たという例もあった。

ハード対策に限界がある現状からすると、できる限り早いタイミングで安全な場所に避難することが良い対策である。そのためには、気象観測システムを強化し、過去の災害データをも考慮した勧告基準を整備すると同時に、その運用に関する体制の確立が必要である。情報は入手したがその後の措置が不十分であったり、情報の内容が十分に把握できず必要な部署に伝達されなかった事例もあるようだ。

いまひとつ、避難勧告が遅れる理由の一つに、勧告する側が「空振り」に終わったとき、住民等からの苦情を恐れるとの指摘がある。それも分からぬではないが、苦情を恐れるよりも人の安全確保を優先すべきである。

そして、空振りに終わったときには、情報把握、状況判断した経緯と結果をできる限り公表し、住民その他関係機関に説明し理解を求める姿勢が重要である。

都市との共存 — 正確 安全 確実 — 危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査
(平成16年4月1日法改正対応)

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル TEL.06-6358-9467(代表)

ヤマト油設株式会社

〒592-8352 堺市築港浜寺西町7-2 TEL.072-269-2345

GIKEN

一方、住民等の側も「空振り」の経緯と結果を真摯にうけとめる姿勢と努力が必要である。また危険と思われる地域で生活する人、一人ひとりが雨の降り方が異常と感じたら自主的に避難するよう平素から土砂崩壊等に対する危険感受性を高める努力も必要である。

このような相互の努力の積み重ねが地域、社会全体の防災意識、防災力の向上につながるのである。

台風21号のあと、ようやく避難勧告指針の作成を本年度中に完成する計画が始動した。これまでも専門

家は「土石流の予測は難しいが、雨の強さと量に注意し、ある時点で避難を決断することが最も現実的な対策である」と言っている。ぜひとも実際に役立つ指針の作成を期待したい。真の自主防災の確立には、国、地方自治体その他関係専門機関の支援が重要である。

相次いだ土砂災害をはじめ、21世紀の前半には起きるであろうと言われている東南海、南海地震を思いながら「まさか」から「万一」への対応が重要であることを再認識した。

危険物施設の事故例

■ セルフ給油所で、計量機の安全装置が作動せずガソリンが漏えい。

北海道内のセルフ給油所で、自動車の給油口へのノズル挿入が不完全であったため、安全装置（自動停止装置）が機能せずガソリンを漏洩させる事故が発生した。

事故概要

顧客が乗用車にガソリンを給油していたところ、固定給油設備の安全装置が作動しなかったことから、当該乗用車の給油口からガソリン約3リットルが溢れ、施設の土間上に飛散したものである。流出したガソリンは、ウエス等で拭取り処理された。

また、事故発生時には消防への通報は行われなかった。

事故原因

本件調査中に実施した給油ノズル点検において異常がなかったことから、給油口へのノズルの挿入が不完全な状態であったため、固定給油設備の自動停止機能が作動しなかったことによるものとされた。

事故分析

セルフスタンドにおいては、静電気による火災事故がよく取り上げられているが、消防庁が平成15年に消防機関及びセルフスタンドの従業員に対し、セルフ

スタンドにおいて発生した事故やトラブル（ヒヤリ・ハット）等の事例について実態調査した結果によると、機械操作に不慣れな顧客の誤操作による事故や、セルフスタンドへの出入り時や内部での交通事故の方が多く発生していることが分かった。

今回の事故は、顧客自らが行った行為ではあるが施設の保安を確保する保安監督者は、常に顧客の行為を監視するとともに、適切な指示を与え、異常時は給油を中止させることが必要である。

また、規模の大小に係わらず、事故発生時は消防機関に通報し、適切な処置を受ける必要がある。

事故対策

顧客の注意も大切であるが、施設の保安を確保する保安監督者は、常に顧客の行為を監視することが必要である。

その他、実態調査において顧客の危険行為として報告された事項として、

- ① 給油時に火気（タバコ喫煙等）を使用していた
- ② 給油する油種を誤った
- ③ 給油時に車から離れていた
- ④ 燃料タンクの給油キャップの締め忘れ
- ⑤ 子供に給油させていた
- ⑥ 給油等に容器詰め替え作業を行っていた
- ⑦ エンジンをかけたまま給油
- ⑧ 給油時以外の喫煙

等が挙げられた。これら危険行為に対し、従業員の監視と指導が重要、不可欠であることが分かる。一方において、危険行為に対する顧客の安全意識を高める方策についても考える必要があると思われる。

平成 17 年度 危険物安全週間 推進標語の募集

主催 消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／財全国危険物安全協会

危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するため、毎年6月の第2週は危険物安全週間とされています。

この週間の行事を推進するため、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語を募集します。最優秀作は危険物安全週間推進ポスターに活用します。

平成17年度ポスターモデルは、アテネオリンピック・金メダリストでマラソンランナーの野口みずきさんを予定しています。

応募方法 郵便ハガキまたはインターネットによるものとします。

・郵便はがき応募の場合は、1枚につき、標語1点とします。郵便番号・住所・氏名(ふりがな)年齢・性別・職業・電話番号を必ずご明記下さい。

*郵便はがき以外での応募や記入事項に不備がある場合は無効とします。

インターネット応募の場合は、(財)全国危険物安全協会ホームページ(右下あて先参照)をご覧ください。応募作品は未発表のものに限ります。

応募資格 特に制限はありません。

締 切 平成16年12月15日(水)必着

選考方法 関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査によって行います。

賞 ●最優秀作 1点 消防庁長官賞と副賞 20万円

●優 秀 作 1点 全国危険物安全協会 理事長賞と副賞10万円

●優 良 作 10点 記念品

*入選された場合はご本人に通知するとともに、消防庁及び(財)全国危険物安全協会のホームページ・関係新聞・機関誌等に発表いたします。

なお、入選作品の著作権は主催者に帰属するものとします。

あて先 〒105 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
-0001

日本消防会館5階

(財)全国危険物安全協会内
危険物安全週間推進協議会

☎03-3597-8393

ホームページアドレス
<http://www.zenkikyoo.or.jp>

〈過去の推進標語〉

平成2年度	“まさか”より“もしも”で守ろう	危険物
3年度	危険物いつも本番待ったなし	
4年度	心・技・知・危険物には真剣勝負	
5年度	危険物その時その場が正念場	
6年度	一瞬のすきも許さぬ	危険物
7年度	確実な 攻守がきめての	危険物
8年度	危険物 むき合う心 いざ集中	
9年度	気を抜くな 扱う相手は	危険物
10年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね	
11年度	危険物 一手先読む 確かな点検	
12年度	危険物 守りのかなめは 保守点検	
13年度	危険物 めざすゴールは 無災害	
14年度	危険物 小さな油断も イエローカード	
15年度	危険物 無事故の主役は あなたです。	
16年度	危険物 ゆるむ心の 帯しめて	



危険物取扱者受験準備講習のご案内

平成16年度第3回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場	
甲種	11月15日(月)、11月24日(水)、11月25日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口すぐ)	
乙種4類	1コース	11月11日(木)、11月12日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	2コース	11月24日(水)、11月25日(木)	9時30分～16時	大阪府商工会館
	3コース	11月16日(火)、11月17日(水)	10時～16時30分	堺市民会館 (南海高野線堺東駅より8分)
	4コース	11月16日(火)、11月17日(水)	10時～16時30分	泉佐野市消防本部研修室 (JR・南海りんくうタウン駅より8分)
	5コース	11月18日(木)、11月19日(金)	10時～16時30分	河内長野ノバティホール (近鉄・南海河内長野駅よりすぐ)
	6コース	11月18日(木)、11月19日(金)	10時～16時30分	茨木市福祉文化会館 (JR・阪急茨木駅より8分)
	土曜コース	11月13日(土)、11月20日(土)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館
丙種	11月29日(月)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館	

(注)甲種は3日間で、乙種4類(1コース～6コース)及び土曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでご了承下さい。
- ③ 申込み手続きは代理の方でも結構です。
- ④ 受講申込書は府下各消防本部及び消防署の予防課で配布しています。

受付場所	日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分) 東大阪市西防火協会	10月27日(水) 午前10:00～11:30
守口消防署内 (地下鉄守口駅前) 守口門真防火協会	10月27日(水) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分) 豊中防火安全協会	10月28日(木) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分) 茨木市災害予防協会	10月28日(木) 午後2:00～4:00
堺市高石市消防本部内 (南海・湊駅北へ6分・大浜南町) 堺市高石市防災協会連合会	10月29日(金) 午後1:30～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅より西へ10分) 岸和田市火災予防協会	11月1日(月) 午前10:00～11:30
泉佐野市消防本部内 (JR・南海りんくうタウン駅より8分) 泉佐野市火災予防協会	11月1日(月) 午後2:00～4:00
河内長野市役所6階601号室 (近鉄・南海河内長野駅よりバスで約10分) 河内長野市防火協会	11月2日(火) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北側出口2号) (財)大阪府危険物安全協会	11月2日(火) (2日間とも 午前9:30～午後4:30 ただし、正午から40分間昼食休み) 11月4日(木)

3. 受講料

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成16年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種	12,600円	14,700円
乙種・土曜コース	13,650円	15,750円
丙種	6,300円	7,350円